

2010/5/22

武蔵大学総合研究所
武蔵大学国際センター

武蔵大学総合研究所／国際センター共催による講演会のご案内

総合研究所と国際センターでは、次の要領による講演会を開催しますので、ご案内申し上げます

記

1. 講演会題目：「オリンピック伝説と身体能力神話」

講演者および講演題目：

マーク・ダイレソン 米国ペンシルヴァニア州立大学体育学部準教授

「第二次世界大戦前オリンピック大会水泳競技における日米対抗」

川島 浩平 武蔵大学人文学部教授

「『黒人身体能力』と水泳、陸上競技、アメリカンスポーツ」

講演会趣旨：

ダイレソン氏による講演は、第二次世界大戦前のオリンピック日本チームの活躍—とくに水泳競技—とその影響を、川島による講演は、水泳、陸上競技、アメリカンスポーツなどを起源とし、広く日本人視聴者の間で流布する「黒人身体能力神話」を焦点とします。最近の日本ナショナルチームの国際スポーツ競技大会における成績はあまりふるわないようですが、その原因を考えるにあたって、本質主義的な言説に惑わされることなく、歴史的文化的要因を考察し、分析する意義を確認することを、両講演に共通する目的とします。

2. 日時：6月9日（水）16：20—17：50

3. 場所：本学8号館3階コモンルーム

* 1 本企画のスポンサーについて

本企画は、OAH（Organization of American Historians、米国アメリカ史学会、アメリカ史研究者による学会としては米国最大規模）とJAAS（Japanese Association for American Studies、日本アメリカ学会）が連携して日米友好基金より給付をうけた助成金によって実現しているもので、アメリカ合衆国に在住の研究者2名（以下ゲスト）を、日本の2つの

組織（以下ホスト校）にそれぞれ招き、2週間の間に講演や講義、セミナーなど学術的な機会を通じて日本の学生、大学院生、研究者と交流し、親睦を深めることを目的とするものです。2010年度は、武蔵大学と京都大学がホスト校になりました。

* 2 武蔵大学に招聘されるマーク・ダイレソン (Mark Dyreson) 氏について

ダイレソン氏は、スポーツ研究においては全米屈指の水準にあるペンシルヴァニア州立大学 (Pennsylvania State University) 体育学部準教授です。専門はアメリカおよび国際社会におけるスポーツ・スポーツ史などで、近単著に以下等があります。

Making the American Team: Sport, Culture and the Olympic Experience (Urbana: University of Illinois Press, 1998); *Crafting Patriotism for Global Domination: America at the Olympic Games* (London: Routledge, 2009)

ダイレソン氏は、研究活動で数々の学会賞を受賞、またアメリカにおけるスポーツ史研究の拠点北米スポーツ史学会の会長を務めました。また中国、韓国などでも精力的に講演活動をこなしています。

ダイレソン氏の現在の研究関心・領域として以下の3点があります。

1. 1920年代から50年代までのオリンピック大会マラソン競技における人種言説
2. 上の時期・競技におけるとくに日韓のライバル関係
3. 1920年代から30年代の国際水泳競技における日米のライバル関係

なお川島の経歴や業績については、以下をご参照ください。

http://www.musashi.ac.jp/modules/gakubu_humanities/index.php?content_id=48

お問い合わせ

人文学部教授 川島浩平

E-mail : kokoharu@cc.musashi.ac.jp